

**通信方式Ⅱ (Communication Systems II) 達成度評価リスト**

2023 年度(令和 5 年度)

到達目標	レベル 3	レベル 2	レベル 1	備考
1. アナログ信号を PCM(標本化, 量子化)によりデジタル信号に変換できる. (E)	PCM による符号化, 伝送速度の計算を正しく実行できる.	PCM による符号化, 伝送速度の計算法を理解している.	アナログ信号に標本化定理や量子化を適用できる.	
2. 代表的な基底帯域変調方式および無線帯域変調方式によるデジタル信号の変調, 復調を実行できる. (E)	デジタル信号の変調, 復調を正しく実行できる.	デジタル信号の変調, 復調の方法を理解している.	どのデジタル変調方式を適用すれば良いか知っている.	
3. ビット誤り率およびデシベル表示を計算できる. (E)	ビット誤り率およびデシベル表示の役割を理解した上で, 正しく計算できる.	ビット誤り率およびデシベル表示を正しく計算できる.	ビット誤り率の計算法, デシベル表示の計算法を知っている.	
4. デジタル信号の多重化, 多重化分離を実行できる. (E)	デジタル信号の多重化, 多重化分離を正しく実行できる.	デジタル信号の多重化, 多重化分離の方法を理解している.	どの多重化方式を適用すれば良いか知っている.	
5. 基本的なランダムアクセス方式の動作を説明できる. (E)	基本的なランダムアクセス方式の動作を正しく説明できる.	基本的なランダムアクセス方式の違いによる動作の違いを説明できる.	基本的なランダムアクセス方式の違いを理解している.	

※原則として, 全ての到達目標に対してレベル 1 以上を合格とします.

■学位授与の方針

E.【複合的な工学応用力】 情報工学の知識を基盤として、情報通信技術 (ICT) の根幹をなす通信工学・電子工学に関する幅広い知識と、それらを複合的に応用できる思考力、判断力を身に付けている。